

あなたなら きっと できる!

Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第4号 令和5年7月20日発行

問合せ先: sinnro-soudan@ohmiya-sd.spec.ed.jp

7月7日(金)に中学部1~4組の生徒が「施設見学会」と「カフェ体験」を行いました。施設見学会は、『日進職業センター』に行きました。「商品」を扱うためには「丁寧さ」や「正確さ」が求められるということをしっかりと学んで来ました。また、午後からの「カフェ体験」では、スターバックス土呂店に行きました。卒業生でもある先輩の店員さんから「仕事を選んだきっかけ」や「中学部時代にどんな力をつけておくべきか」について話してもらいました。これから進路を考えていく上で、とても参考になる「見学会」と「体験」でした。

日進職業センターは、2年間の訓練で「働き続ける力」を育て就労に繋げる『就労移行支援事業』と、無期限で生産活動に携わる『就労継続支援事業B型』があります。「働きたい」という願いをもつ18歳以上の障害者一人一人の適性に合った支援が受けられます。本校の高等部本科・専攻科を卒業した先輩が、ここでの訓練を終えて、グリコに就職したそうです。概要説明を受けた後、実際に働く様子を間近で見学させてもらいました。また、実際に働いている仲間の方から、詳しい日課や仕事内容についての説明をしてもらいました。



洗った後の軍手を入念に調べて、細かな糸のほつれをきれいにカットする作業や、注文に応じて袋詰め の折り位置を変える作業などを見て、「商品」を扱うこと の厳しさを知る事ができました。また、作業は基本的に立って行われており、学校での活動との違いを感じる こともできました。中学生のみんなは大人になった 自分を想像することはまだまだ漠然としていたのですが、今回の見学を通して「働く」というイメージをもつ ことができたように思います。



スターバックスで、カフェ体験をしました。当日は猛暑 だったため、メニューボードを指さす方法で「カスタマイズ」 ができました。注文を受け付けてくれた店員さんは、 本校の卒業生でもある先輩で、手話での注文受付や店 内の案内など分かりやすく説明してくれました。



店員さんや店長さんに質問させてもらいました。健聴 の店員さんや店長さんが手話を使うのを見て、「国立の スタバみたい」と感じたようで、どうして手話を覚えたの ですか?など、沢山質問しました。「せっかくろう学校の近 くにるので、ぜひみんなに立ち寄ってほしい」とのこと でした。「職場体験学習」ができるのも夢ではないよう です。卒業生である先輩からは「社会に出ると困難なこ とが沢山あります。でも、私が頑張れたのは、部活を休まず 続けてきたことで“つけた力”があったからだと思いま す。だからみなさんも、途中であきらめないで、続けるこ とを大事にしてください。」と話されました。明日から、ま た、勉強や部活を頑張っていこう!と、改めて実感しまし た。施設見学とカフェ体験。七夕の日は「進路」を考える 貴重な一日となりました。